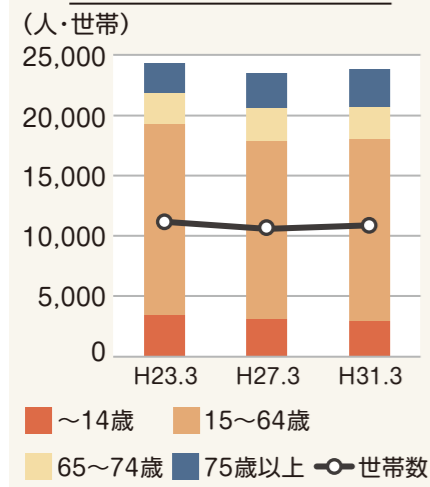


## 第3地区の統計データ

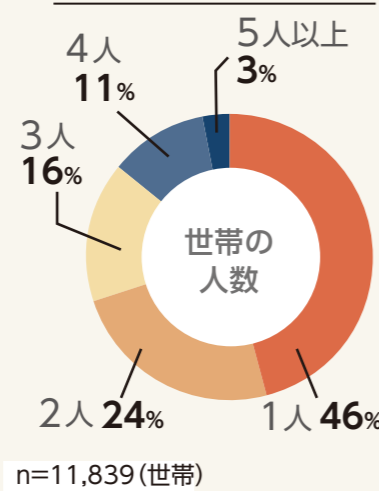
### 人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	24,380	3,224	15,879	2,487	2,790	21.6	12,605	2.02
H27.3	23,502	2,988	14,909	2,737	2,868	23.8	11,389	2.06
H31.3	23,795	2,928	15,210	2,626	3,031	23.8	11,839	2.01

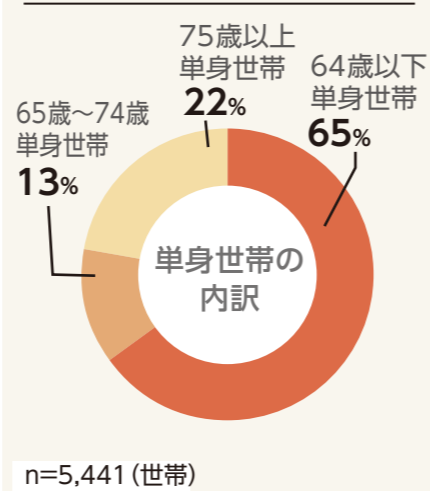
### 人口・世帯数の推移



### 世帯の状況 (H31.3現在)



### 単身世帯の状況 (H31.3現在)



### 世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	11,594	5,162	44.5	674	1,206	1,040
H31.3	11,839	5,441	46.0	689	1,222	1,030
R2.3	12,030	5,691	47.3	710	1,221	1,039

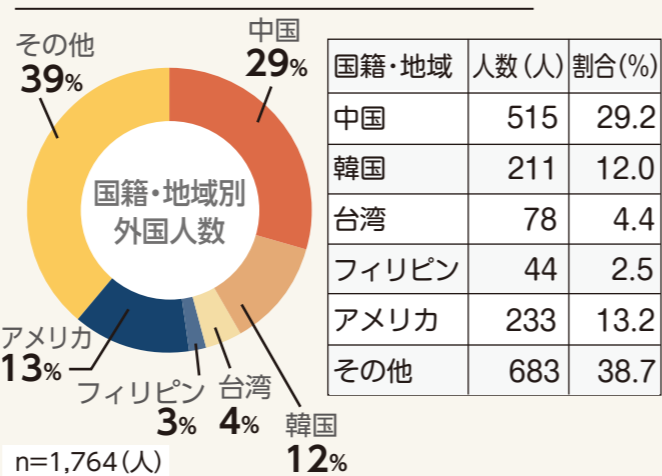
※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

### 地区の要介護高齢者の状況 (R2.9現在)

	高齢化率(%)	要介護認定率(%)	要支援の割合(%)	要介護の割合(%)
第3地区	23.93	21.94	4.19	17.75
中区平均	23.00	21.80	4.82	16.99
市平均	24.11	19.57	5.59	13.98

出展：横浜市健康福祉局資料

### 地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



出展：中区外国人基礎調査より

### データから見た第3地区

人口、世帯数とも区内で2番目に多い地区です。総人口、世帯数は減少傾向にありましたが、近年はやや増加に転じています。特に75歳以上の高齢者が増加しており、高齢化率も中区平均(23%)より高く、75歳以上の単身世帯も1,200世帯を超えています。また、65歳以上の二人暮らしの割合も他地区に比べ高くなっています。

要介護認定率も約22%となっており、人口も多いことから、介護を必要とする高齢者の数が多いことが分かります。

地区内の外国人の割合は8%程度ですが、他地区に比べて、米国、その他の国・地域の割合が高いことが特徴です。

# 第3地区

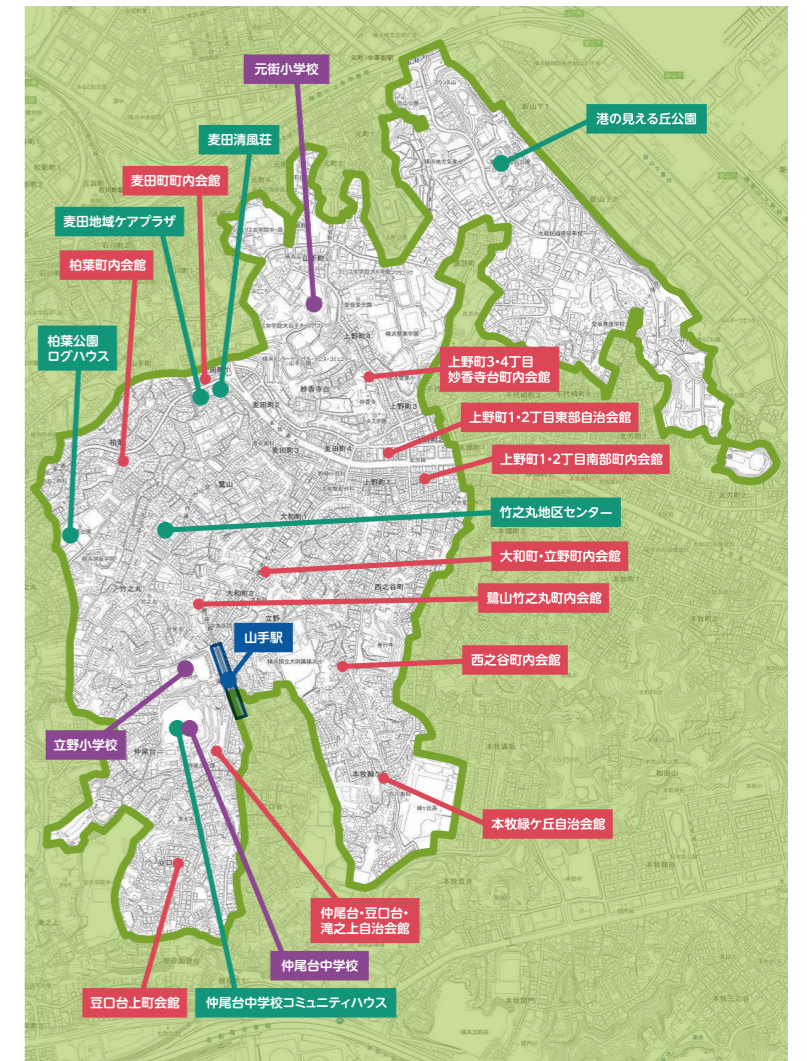
## 5年後の目指す姿

いろいろな世代が触れ合い、地域丸ごとのつながり強化で、困りごとを解決できる第3地区



### 第3地区はこんなまちです

古き良き横浜の姿が今でも残る地域で、本牧通り沿いに商店が軒を連ね、その背後の丘陵地帯に住宅地が広がっています。長く住み続けている住民が多いため、少子高齢化が年々進み独居世帯も多くなっています。そのような中でも地域の繋がりを大切にして、ふれあいサロンや子育てサロン等福祉活動が多数活発に行われています。



上野町・柏葉・鷺山・竹之丸・立野・仲尾台・西之谷町・本牧緑ヶ丘・豆口台・妙香寺台・麦田町・大和町・滝之上・山手町の一部

## これまでの計画(第3期)の振り返り

高齢者食事会・ふれあいサロン、子育てサロン等既存の事業継続に加え、平成30年10月より生活支援事業として、高齢者対象の「困りごと引き受け隊」事業が発足し、住民から好評を得ています。各自治会町内会でもサロンや健康クラブ等が盛んで、地域交流や健康づくりへの取組が活発に行われています。「元気づくりコンサート」も多世代に渡り好評を得ており、第3地区文化事業として定着してきています。運動会も58回を迎え、老いも若きも秋の一日を大いに楽しんでいます。

## 第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や自治会町内会長、民児協、ボランティアグループなどの代表で構成される「中なかいいネ! 第3地区プロジェクトチーム」を中心に、令和元年度に3回、令和2年度に2回のプロジェクト会議に加え、勉強会なども開催しながら作りました。

nakanaka photo



## 第4期計画

目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
こどもから高齢者まで、様々な世代のつながりと助け合いの機会を増やします	<b>第3期までに取り組んだ事業を改善、継続していきます</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お楽しみ食事会(奇数月・第3水曜日)</li> <li>● ふれあいサロン(毎月・第2木曜日)</li> <li>● 西之谷読み聞かせ会(毎月・第1水曜日)</li> <li>● むぎた子育てサロン(毎月・第4水曜日)</li> <li>● 「困りごと引き受け隊」(常時依頼受付)</li> <li>● 第3地区大運動会(10月第3日曜日)</li> <li>● 第3地区元気づくりコンサート(10月第1日曜日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者・こども・保護者・障害者等とのつながり・見守りを図るため</li> <li>● 地区社協の目的である一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを目指すため</li> <li>● 居場所や交流事業の継続のため</li> </ul>	えん結び
	<b>身近な地域での「見守り・支え合い」活動を進め、定着を目指します</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区社協の運営の課題の話し合い、基盤を強化</li> <li>● 自治会町内会単位での見守りの仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな福祉・生活課題が増えているため、行政を中心とした的確な対策とともに、問題が深刻化する前に身近な地域で早期に発見し、予防的な視点も含めてサポートする総合的な体制が必要となっており、地域住民の参加と協力が不可欠となっているため</li> </ul>	
	<b>第3地区全体で運営体制の見直し整備を図ります</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な主体と連携・協働できるネットワークを作り、役割分担等を整備</li> <li>● 「身近な地域での見守り・支え合い活動」を進めるためのリーダーやサポーターの選出と育成、ボランティアの募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会町内会単位で「身近な地域での見守り・支え合い活動」に取り組みやすい環境を作るため</li> </ul>	
健康づくりの取組により、住民が元気で交流ができる第3地区にします	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会町内会別に、ラジオ体操がより交流の図れる場になるように取り組みます。</li> <li>● 色々なスポーツ等の同好者が集まって交流できるようにします。</li> <li>● 保健活動推進員主催の「第3地区歩こう会」をスポーツ推進委員、青少年指導員の協力も受け、第3地区の幅広い世代が参加できるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロコモティブシンドローム予防のため</li> <li>● スポーツを通して地域の交流を進めるため</li> </ul>	元気いっぱい
地区社協や地区別計画を広く周知し、その実行のため第3地区のヨコの関係を強化します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に会報を配布し、事業への参加を呼びかけるとともに、住民の福祉意識を深めます。</li> <li>● 新規事業の導入につながるように、参画する方に必要な研修を行い、理解を深めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民に第3地区福祉保健計画を知ってもらい、ボランティア等で関わる方を増やすため</li> <li>● 第3地区内のイベント等を周知し、住民の参加を増やすため</li> <li>● 自治会町内会長、民生委員児童委員等を中心に第4期計画の理解を促し、運営を強化するため</li> </ul>	その他

# 第3地区

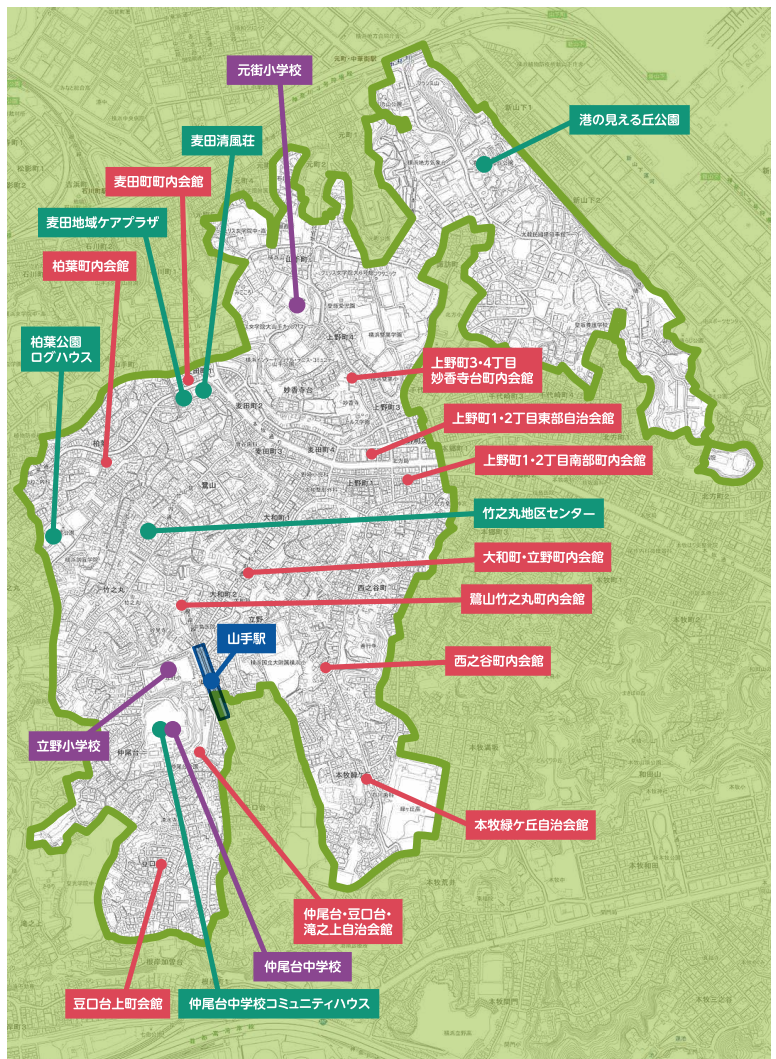
## 5年後の目指す姿

いろいろな世代が触れ合い、地域丸ごとのつながり強化で、  
困りごとを解決できる第3地区



### 第3地区はこんなまちです

古き良き横浜の姿が今でも残る地域で、本牧通り沿いに商店が軒を連ね、その背後の丘陵地帯に住宅地が広がっています。長く住み続けている住民が多いため、少子高齢化が年々進み独居世帯も多くなっています。そのような中でも地域の繋がりを大切にして、ふれあいサロンや子育てサロン等福祉活動が多数活発に行われています。



上野町・柏葉・鷺山・竹之丸・立野・仲尾台・西之谷町・本牧緑ヶ丘・豆口台・妙香寺台・麦田町・大和町・滝之上・山手駅の一部

## これまでの計画(第3期)の振り返り

高齢者食事会・ふれあいサロン、子育てサロン等既存の事業継続に加え、平成30年10月より生活支援事業として、高齢者対象の「困りごと引き受け隊」事業が発足し、住民から好評を得ています。各自治会町内会でもサロンや健康クラブ等が盛んで、地域交流や健康づくりへの取組が活発に行われています。「元気づくりコンサート」も多世代に渡り好評を得ており、第3地区文化事業として定着してきています。運動会も58回を迎え、老いも若きも秋の一日を大いに楽しんでいます。

## 第4期計画

目標	第4期の取組
<p>こどもから高齢者まで、様々な世代のつながりと助け合いの機会を増やします</p>	<p><b>第3期までに取り組んだ事業を改善、継続していきます</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お楽しみ食事会(奇数月・第3水曜日)</li> <li>● ふれあいサロン(毎月・第2木曜日)</li> <li>● 西之谷読み聞かせ会(毎月・第1水曜日)</li> <li>● むぎた子育てサロン(毎月・第4水曜日)</li> <li>● 「困りごと引き受け隊」(常時依頼受付)</li> <li>● 第3地区大運動会(10月第3日曜日)</li> <li>● 第3地区元気づくりコンサート(10月第1日曜日)</li> </ul> <p><b>身近な地域での「見守り・支え合い」活動を進め、定着を目指します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区社協の運営の課題の話し合い、基盤を強化</li> <li>● 自治会町内会単位での見守りの仕組みづくり</li> </ul> <p><b>第3地区全体で運営体制の見直し整備を図ります</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な主体と連携・協働できるネットワークを作り、役割分担等を整備</li> <li>● 「身近な地域での見守り・支え合い活動」を進めるためのリーダーやサポーターの選出と育成、ボランティアの募集</li> </ul>
<p>健康づくりの取組により、住民が元気で交流ができる第3地区にします</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会町内会別に、ラジオ体操がより交流の図れる場になるように取り組みます。</li> <li>● 色々なスポーツ等の同好者が集まって交流できるようにします。</li> <li>● 保健活動推進員主催の「第3地区歩こう会」をスポーツ推進委員、青少年指導員の協力も受け、第3地区の幅広い世代が参加できるようにします。</li> </ul>
<p>地区社協や地区別計画を広く周知し、その実行のため第3地区のヨコの関係を強化します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に会報を配布し、事業への参加を呼びかけるとともに、住民の福祉意識を深めます。</li> <li>● 新規事業の導入につながるように、参画する方に必要な研修を行い、理解を深めます。</li> </ul>

## 第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や自治会町内会長、民児協、ボランティアグループなどの代表で構成される「中なかいいネ! 第3地区プロジェクトチーム」を中心に、令和元年度に3回、令和2年度に2回のプロジェクト会議に加え、勉強会なども開催しながら作りました。

nakanaka photo



### 取り組む理由

### 視点

- 高齢者・こども・保護者・障害者等とのつながり・見守りを図るため
- 地区社協の目的である一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを目指すため
- 居場所や交流事業の継続のため

- 新たな福祉・生活課題が増えているため、行政を中心とした的確な対策とともに、問題が深刻化する前に身近な地域で早期に発見し、予防的な視点も含めてサポートする総合的な体制が必要となっており、地域住民の参加と協力が不可欠となっているため

- 自治会町内会単位で「身近な地域での見守り・支え合い活動」に取り組みやすい環境を作るため

- ロコモティブシンドローム予防のため
- スポーツを通して地域の交流を進めるため

- 地域住民に第3地区福祉保健計画を知ってもらい、ボランティア等で関わる方を増やすため
- 第3地区内のイベント等を周知し、住民の参加を増やすため
- 自治会町内会長、民生委員児童委員等を中心に第4期計画の理解を促し、運営を強化するため

えん結び

元気いっぱい

その他

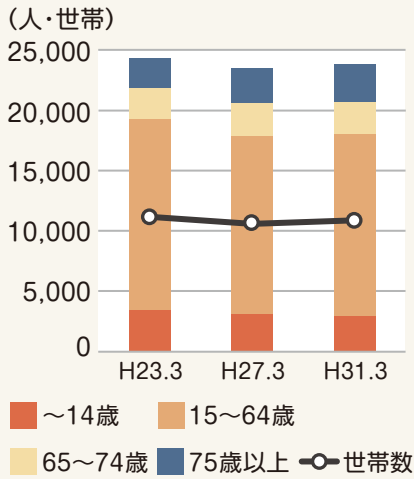
えん結び・・・見守り力を高める取組      元気いっぱい・・・健康づくりの取組

# 第3地区の統計データ

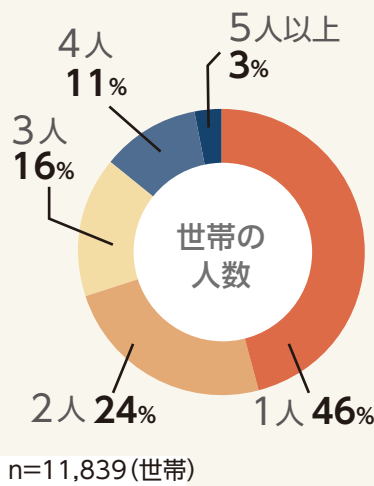
## 人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	24,380	3,224	15,879	2,487	2,790	21.6	12,605	2.02
H27.3	23,502	2,988	14,909	2,737	2,868	23.8	11,389	2.06
H31.3	23,795	2,928	15,210	2,626	3,031	23.8	11,839	2.01

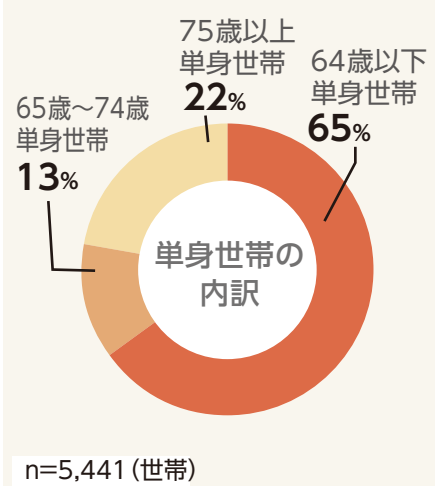
### 人口・世帯数の推移



### 世帯の状況 (H31.3現在)



### 単身世帯の状況 (H31.3現在)



## 世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	11,594	5,162	44.5	674	1,206	1,040
H31.3	11,839	5,441	46.0	689	1,222	1,030
R2.3	12,030	5,691	47.3	710	1,221	1,039

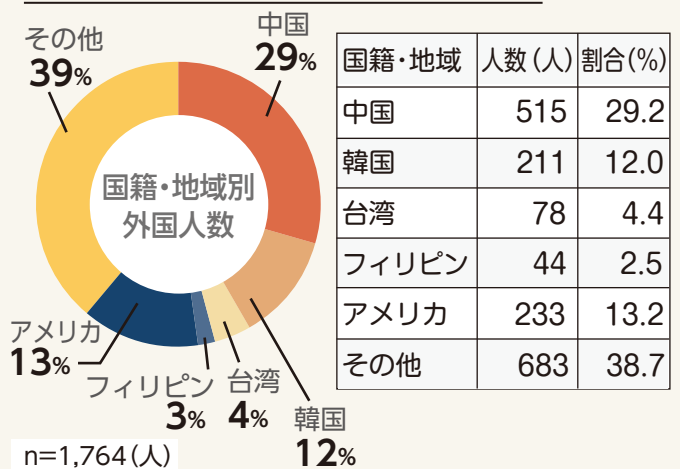
※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

## 地区の要介護高齢者の状況 (R2.9現在)

	高齢化率(%)	要介護認定率(%)	要支援の割合(%)	要介護の割合(%)
第3地区	23.93	21.94	4.19	17.75
中区平均	23.00	21.80	4.82	16.99
市平均	24.11	19.57	5.59	13.98

出展:横浜市健康福祉局資料

## 地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



出展:中区外国人人数基礎調査より

## データから見た第3地区

人口、世帯数とも区内で2番目に多い地区です。総人口、世帯数は減少傾向にありましたが、近年はやや増加に転じています。特に75歳以上の高齢者が増加しており、高齢化率も中区平均(23%)より高く、75歳以上の単身世帯も1,200世帯を超えています。また、65歳以上の二人暮らしの割合も他地区に比べ高くなっています。

要介護認定率も約22%となっており、人口も多いことから、介護を必要とする高齢者の数が多いことが分かります。

地区内の外国人の割合は8%程度ですが、他地区に比べて、米国、その他の国・地域の割合が高いことが特徴です。